

天候の変化が多く、の業種に影響を与える

3月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

例年より早い気温の上昇や季節外れの降雪といった天候の変化の影響を受けた業種が多く見受けられる。その他、製造業では、原材料の値上げが収益を圧迫している様子がうかがえる。また、非製造業では、卸売業や建設業を中心に人手不足が顕在化している。

製造業	食料品		パンは、気温の上昇が例年よりも早かったことから月後半に売上が鈍ったものの、前年並みとなる。菓子類は、彼岸需要が好調で前年よりも売上が増加。製麺は、生産量・販売量の減少が続く中、4月からの原材料の値上げを懸念。食肉は、豚肉相場の上昇に加え、と畜頭数の減少により売上が減少。
	繊維・同製品		桐生織物は、婦人服地のテキスタイル展示会が好評のうちに終了。輸出向けは低調な状況が続いているが、和装織物は前年同様の売上となっている。ニットは、原材料価格が値上げされる中、販売価格への転嫁が進まず厳しい経営状況が続いている。レースは、アジア圏からの輸入品に押され廃業が増えている。
	窯業・土石製品		生コンは、都市部における大型工事や八ツ場ダム関連工事が増えたことにより売上が増加。コンクリートブロックは、好天に恵まれ出荷が順調に推移。コンクリート製品は、運送費や鉄筋等の原材料の値上げが収益を圧迫している。砕石は、地域間格差はあるものの、公共工事の伸び悩みにより全体としては売上が減少。
	機械・金属		食品関連は、引き続き好調に推移。自動車・電機関連は、決算による在庫・生産調整による売上の減少が見受けられるが、SUBARU関連においては、影響が見られず。鍍金は、自動車関連が横ばいであるのに対して、リチウム電池・建設・機械装置の部品関連が好調。
	その他の製造業		木材は、販売単価の下落により収益が悪化しているが、荷動き自体は悪くない。印刷は、一部において行政関係の発注増による活況が見られるものの、全体的には低調に推移。紙加工品は、前半は前年に比べ低調であったが、月後半からは春に向けての新商品等の企画が動き始めたことで、改善が見られる。
非製造業	卸売業		高崎卸は、3月1日の就職活動の解禁と同時に、ビッグキューブにおいて多くの合同企業説明会が開催されている。組合員の手不足感は依然として強く、パート人材も不足している状況。農産物卸は、月後半に気温が上昇したことにより葉物を中心に相場が高値から安値に一転し不安定な値動きとなる。
	小売業		燃料小売は、原油価格の上昇に伴い販売価格も上昇したことで、売上増加となる。生花小売は、卒業式や職場の異動等のお祝い関連の需要が例年通りとなるが、彼岸等の仏事関連が降雪に見舞われた影響で伸び悩む。商店街は、気温の上昇により人通りが増えたが売上に結びついていない状況。
	サービス業		温泉旅館は、草津地域において本白根山噴火に伴うスキー客減少の影響が見られるが、他地域では、降雪によるキャンセル等も見られず、入込客数は前年並みの状況。みどり市域における不動産取引は、他地域同様、買い手市場の状況となっており、組合員は分譲地の販売に苦慮している。
	建設業		解体工事は、年度末を工期とする工事が一段落し、受注量がやや落ちている状況。電気工事は、年度末に伴う建築関連工事の増加に伴い売上・収益ともに増加となるが、依然として人員の確保が課題となっている。塗装工事は、仕事量は前年並みとなっているが、短納期の工事の減少により収益率は上がっている。
	運輸業		年度末の繁忙感はないものの、長距離輸送関連で車両不足の状況が見られるほか、野菜関連は、好天により出荷量が増えたことから輸送量が増加。小口配送は、好調なPET検査薬や建築資材リース関係に加え、催事用食料品や卒業式用の貸衣装の輸送が増加し、全体的に売上高、件数ともに増加となる。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 119.0(前月比+17.6%)「県統計課・2月」
- 住宅着工戸数 853戸(前年同月比▲21.5%)「県建築住宅課・2月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規2.21倍:有効1.59倍「群馬労働局・2月」
- 大型小売店販売額 186億円(前年同月比+1.0%)「経済産業省・2月」
- 消費者物価指数(全国) 101.3(前年同月比+1.5%)「総務省統計局・2月」
(鉱工業生産指数は22年=100とした指数・消費者物価指数は27年=100とした指数)